

2015 年 9 月 9 日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』

第 38 回 大日方 邦子 氏

(冬季パラリンピックにおける日本人初の金メダリスト)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：小野清子 以下：SSF）は、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々にお話を伺い、スポーツの価値や意義を検証、あるべきスポーツの未来について考えるスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を連載しております。本年度は、パラリンピアンや、ご自身の活動をとおして障害者スポーツをけん引してこられた方にフォーカス、今回は大日方邦子さんにご登場いただきます。

大日方さんは冬季パラリンピックに 5 大会連続出場し、アルペンスキー競技で金メダル 2 個を含む、合計 10 個ものメダルを獲得。現在は、講演活動をはじめとするさまざまな活動をとおして、障害者スポーツの振興に貢献されています。インタビューには、多くのスポーツの名場面に立ち会ってこられた山本浩氏をお迎えし、パラリンピックでのエピソードや障害者スポーツの未来についてなど、意義深いお話を引き出していただきました。

SSF ウェブサイトでの公開詳細は以下のとおりです。ぜひともご覧ください。

『日本障害者スキーのパイオニア』

大日方 邦子 氏

【公開日時】2015 年 9 月 9 日（水）10：00 一斉公開

【URL】<http://www.ssf.or.jp/history/>

笹川スポーツ財団 歴史の検証 で検索ください

【主な内容】負けず嫌い精神でさまざまなスポーツに挑戦／2020 年の先に「文化」を根付かせるために自分を誇りに思えた 2 つめの金／スポーツへの扉を一緒にノックする役目を果たしたい など

<プロフィール>

大日方 邦子（おびなた くにこ）氏

1972 年東京都出身。3 歳の時に交通事故により負傷。高校 2 年生の時、チェアスキーと出会う。アルペンスキー競技で 1994 年リレハンメルパラリンピックを皮切りに、2010 年バンクーバー大会まで、パラリンピック 5 大会連続出場を果たし、合計 10 個のメダル（金 2 個、銀 3 個、銅 5 個）を獲得。現在は電通パブリックリレーションズに勤務するかたわら、日本パラリンピック委員会運営委員や、日本パラリンピアンズ副会長としての活動をとおして障害者スポーツの振興に努める。主な著書に『壁なんて破れるーパラリンピック金メダリストの挑戦』（日本放送協会）がある。

山本 浩（やまもと ひろし）氏

1953 年生まれ。スポーツ評論家。NHK 在職中はエグゼクティブアナウンサー、解説委員（スポーツ・体育分野専門）として活動。現在は法政大学スポーツ健康学部教授を務める。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人 笹川スポーツ財団

【後援】文部科学省、東京都、公益財団法人 日本体育協会、公益財団法人 日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先

笹川スポーツ財団 経営企画グループ：古坂（ふるさか）

TEL：03-5545-3301 info@ssf.or.jp